

●府民総合交流プラザ

<p>前回検証結果</p>	<p>継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の実績が好調に推移しているものの、利用率に改善の余地があることから、施設利用者ニーズや利用手順のしやすさを踏まえた柔軟なサービスを検討し、利用率の改善を図ること。
<p>対応・改善策 実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年度から、新規利用者獲得と利用者の利便性の向上を図るため、スポーツホールにインターネット予約を導入。コロナ禍において全体的に利用が減少するなか、新規利用者の増加に繋がっており利用率の維持に貢献。 ・令和2年度から、キャッシュレス決済を導入し、利用者の利便性を向上。 ・近年の利用促進策は、ホームページでの集客強化を中心に行っており、SEO対策、リスティング広告等の対策を積極的に実施。また、ホームページ上での情報量の増加を図りつつ、SNSでの情報発信（Facebook、Instagram、Twitter）にも注力。 ・コロナ禍においては、消毒セットの無料貸出しやテルサホールでのソーシャルディスタンスを確保した専用プランの販売を行い、利用者ニーズに沿った販売促進を強化。
<p>取組の結果</p>	<p>◇平成28年度の利用者数は、過去最高（約105万人）を達成して以降、令和元年度まで100万人前後で推移。</p>
<p>なお残る課題・ 問題点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆築25年が経過しており、建物・設備の老朽化が進行し、設備保守の費用や突発的な修繕費等が増加傾向。 ◆新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた環境変化への対応と新たな需要の掘り起こし。
<p>府民サービス等 改革検討委員会 による改善意見 等</p>	<ul style="list-style-type: none"> □本施設は、「女性」・「スポーツ」・「健康」のイメージが定着しているが、これらに加え、「文化」・「学び直し」・「高齢者就労」分野での更なる利活用促進を期待する。 □HPや印刷物等のデザイン性の向上や、本施設を知らない府民への更なるリーチのあり方など広報戦略の見直しを期待する。 □コロナ禍の影響を受けた飲食事業者の撤退を踏まえ、大きなテナント料の期待ではなく、一定の需要に応える仕組み・体制の導入を検討すればどうか。 □アクセスが良い立地であることから、テルサホールへの若者向けイベント等の誘致や会議室の試験会場としての更なる利用など、より一層活用できる可能性がある。 □施設の耐用年数の半分程度を経過し、将来の更新財源のことを考えるタイミングを迎えており、将来の大規模修繕等の費用確保が懸念される。

<p>京都府の検証結果及び対応方向</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> 継続 </div> <p>◎施設の新たな利活用の取組や広報戦略の検討により、より幅広く効果的な利活用を図ること。</p> <p>◎老朽化による施設改修も見据え、公的な負担の軽減の観点から、中長期的な戦略を検討すること。</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p><今後の対応></p> <p>○若年層向けイベントの誘致やWEBによる効率的な広報など、新規顧客の獲得や効果的な利活用を図っていく。</p> <p>○築25年が経過していることから、劣化状況の調査や優先順位の検討を踏まえ、効果的かつ効率的に修繕を進める。</p>
-----------------------	--